

諏訪小だより

令和6年11月29日

12月号

多摩市立諏訪小学校

校長 齋藤 幸之介

人権週間に際して－世界で活躍する日本人の姿を通して

校長 齋藤幸之介

先日実施した本校開校30周年記念式典にて、子供たちは御来賓並びに御参列の皆様大きな拍手を頂戴しました。各学年の取組に賛辞を得られたことは大きな自信につながったことと捉えています。十二月に行う学習発表会では、平素の学習の積み重ねを御披露します。保護者の皆様や地域の方々のお励ましが子供たちの自己肯定感を高めることにつながります。どうぞ御期待ください。

人権週を迎えるにあたり

さて、今年度は12月4日から12月10日までが人権週間となっています。戦後、我が国は民主主義国家となりましたが、当初学校現場では、「民主主義の根本」を「人間の尊重」と子供たちに教えました。そしてこれは「みんなの心の中にある」としています。

一方で、人権の大切さが叫ばれるということは、このあり方をもっと強く訴えていかなければならない、ということにもなるのでしょう。日々の教育活動でもこのことを第一義としなければ、常に確認をします。

確かに、全ての人に人権を保障するために何をどのようにしたらよいのかを具体的に考えて理解を深めることは難しくありますが、今回は一人の人物にスポットを当てて考えてみたいと思います。

国際連合事務次長 中満泉さん

第6学年社会科の教科書に「中満泉」という方が取り上げられています。中満さんは国際連合事務次長である、と紹介されています。

少し話がそれますが、社会科には多くの人物が取り上げられています。それは、単に知識を深めるだけでなく、子供たちが社会で生きていくために人々の生き方を学ぶ必要がある、と言われたことがその根底に流れているとされます。この考えは、50年近くも継承されています。ですから、国際社会における我が国の役割を学ぶ際には、例えば中満さんはとても大切な人物となります。

中満さんは、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に採用されました。

トルコへの赴任から始まった御仕事は、私世代にはあまりに大きな衝撃を与えた第一次湾岸戦争によってとても厳しいものになったそうです。イ

ラクの北部にいるクルド人難民が山岳地帯を超えて隣接するトルコへの入国を試みましたが、トルコはこれを拒みました。あまりに厳しい状況下で、中満さんはそれでも粘り強く取り組まれました。

中満さんは、この後100を超える国々を歴訪される一方、国際連合の要職を務められます。国連事務次官になられ、「核兵器禁止条約」の採択にも尽力されます。日本は現在不参加ですが、粘り強く取り組もうとされる中満さんのお考えは、様々なところで何うことができます。

中満さんは、多くの紛争から「中立性」の重要性を説かれています。「どの当事者にも偏らない」「犯罪に対しては、明確に反対する」「行った場合には、区別なしに避難する」、また、抗議や交渉を経て合意を目指されますが、これらは「言葉」「会話」によることも強く打ち出されています。中道さんが大切にされていることが大いに伝わってきます。

人間の尊厳－難民を通して学ばれたこと

様々な厳しい状況下で学ばれたことを中満さんは「人間の尊厳」とまとめられています。もちろん、国際連合で働く国際公務員は、平和の追求や人権の尊重、世界の「誰一人取り残さない」という理想をもってこれを実現しようとしています。中満さんの言葉にはさらに重みがある、と感じます。それは、世界の各地に起こる紛争等を実際に観て、そこにいる人々に直に触れているからです。「実は私が難民を助けているのではなく、私が難民から人間にとって一番大切なものを教えられている気がするのです」。

中満さんの娘さんからのメッセージが紹介されています。「母ちゃん大好き、愛してる。世界を頼む」。コメントをすることが憚られる何にも代えがたい素晴らしい表現です。同時に、「世界を頼む」を私はこれから生きる若者たちにもぜひ受け止めてもらいたいと思っています。12月10日の全校朝会で、私は子供たちに中満さんの生き方をより具体的に伝えるべく、最後の工夫をしたいと思っています。

<参考>

危機の現場に立つ（中満泉、2017年、講談社）

新編新しい社会6政治・国際編（東京書籍、2024年）

12月行事予定

1	日	
2	月	安全指導
3	火	生活朝会 避難訓練（中休み・煙体験） プラス（～16:30）
4	水	4時間授業 校内研究授業（2） 読み聞かせ（低） 笑顔と学びのプロジェクト（全） ALT プラス（7:40～）
5	木	たてわり班活動 委員会活動 みらい塾
6	金	プラス（～16:15）
7	土	
8	日	
9	月	プラス（～16:15）
10	火	全校朝会 ALT プラス（～16:30）
11	水	ALT プラス（7:40～）
12	木	学習発表会リハーサル 読書週間（終）
13	金	学習発表会（児童鑑賞日） 5時間授業
14	土	学習発表会（保護者鑑賞日）
15	日	
16	月	振替休業日
17	火	全校朝会 なかよし交流会 ALT
18	水	つばさ指導（終） 読み聞かせ（高） おはなし会 ALT プラス（7:40～）
19	木	児童集会 クラブ活動 みらい塾
20	金	社会科見学（5） プラス（～16:15）
21	土	
22	日	
23	月	給食（終）
24	火	
25	水	冬季休業日（始） ～1/7

「社会科見学」

4年生は、11月1日（金）に社会科見学に行きました。今回は、浅草、東京スカイツリーの見学を通して学びを深めました。

社会科見学を通して、浅草の歴史や賑わいを直に感じることで、東京スカイツリーの展望スペースから東京都の市部と区部の様子の違いについて学びました。実際に自分で見て気付いたことをメモするなど、事前に学習したことと結び付けながら見学することができました。

4年担任 西川 継海

「音楽発表会」

11月22日（金）にパルテノン多摩で「多摩市公立小学校音楽発表会」が行われ、本校の代表として5年生が、合唱「世界で一つのハーモニー」と合奏「銀河鉄道 999」を発表しました。

練習当初は、なかなか声が出なかったり、音がそろわなかったりということもありましたが、何度も練習を重ねることで、息の合った演奏ができるようになりました。

本番では全員が力を発揮し、重なりのある美しい歌声と勢いのある合奏がホールに響き渡りました。演奏後の、達成感に満ち溢れた児童の表情が印象的でした。

5年担任 三木 一将

「開校30周年記念式典」

開校30周年記念式典では、保護者並びに地域の皆様に御協力いただきありがとうございました。職員は昨年から「行事・式典部会」「記念誌部会」「校内環境部会」に分かれて準備を進めてきました。当日は約100名の御来賓を招き、プラスバンドの演奏から式を始めました。祝辞では御来賓から本校や諏訪の町に関する身近なお話をいただき、アトラクションでは、全校児童による生活科・総合的な学習の時間で学習してきたことを踏まえた発表を行いました。最後の参加者500名での校歌斉唱は圧巻でした。これからも、ニュータウン改革の先駆けとなった諏訪の歴史を大切に指導していきます。

周年委員会委員長 齊藤 亜希